

各報道機関 様

KJ00471412
2025年6月17日

発信課	経済部産業振興課
担当者	後藤・佐藤
連絡先	電 話 直通65-7047/内線5520
	F A X 65-7048
	E-mail sangyousinkou@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事 ☒ 募集 ☐ 契約・入札 ☐ 会議・説明会 ☐ その他 ☐
日 程	令和7年6月25日 16時30分 ~ 令和7年8月31日
発表項目 (行事名)	ミケーレ・デ・ルッキ展について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	本年1月に旭川市初となる特別デザイン大使を委嘱した世界的建築家であるミケーレ・デ・ルッキ氏が来旭され、6月25日(水)のテープカットセレモニーを皮切りとし、8月31日(日)まで「ミラノと旭川のデザインの架け橋」をテーマに展覧会を開催する運びとなりました。 また、6月26日(木)には、同氏と行動展示で有名な日本最北端の旭川市旭山動物園の坂東統括園長とのトークセッションが、旭川市長今津寛介がファシリテーターを担い、実施されます。 詳細は別紙をご覧ください。
添付資料	有 ☒ 無 ☐
報道(取材)に当たってのお願い	6月26日(木) 10時30分から囲み取材をお受けいたします。 取材を希望される方は、6月20日(金)までに担当宛に電子メールにて社名及び質問内容の概要をお送りください。
備 考	

報道関係者各位

令和7年6月17日

旭川市長 今津 寛介
(担当 経済部産業振興課)
あさひかわ創造都市推進協議会
会長 渡辺 直行

旭川市特別デザイン大使委嘱後初となる「ミケーレ・デ・ルッキ展」の取材・報道について（依頼）

拝啓 深緑の候、貴社におかれましては、ますます御盛栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本市のデザイン振興に格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年1月に旭川市初となる特別デザイン大使を委嘱した世界的建築家であるミケーレ・デ・ルッキ氏が来旭され、6月25日（水）のテープカットセレモニーを皮切りとし、8月31日（日）まで「ミラノと旭川のデザインの架け橋」をテーマに展覧会を開催する運びとなりました。

7月6日（日）までは、国登録有形文化財である上川倉庫群内にある市民ギャラリーを会場に、その後、7月8日（水）からは内藤廣氏が設計し、北彩都地区を眺めることができる旭川駅を会場に、4月にイタリアミラノで開催された、ミラノデザインウィーク期間中に、ミラノ大学で展示された AMDL CIRCLE ミケーレ・デ・ルッキ氏がデザインされたインスタレーション CATASTA を旭川用にデザインをしました、高さ3メートルの CATASTA とミケーレ・デ・ルッキ氏の最近の作品パネルを展示致します。入場無料で同氏の思想や創作活動に触れることができるまたとない機会となります。

また、6月26日（木）には、同氏と行動展示で有名な日本最北端の旭川市旭山動物園の坂東統括園長とのトークセッションが、旭川市長今津寛介がファシリテーターを担い、実施されます。

ユネスコ創造都市ネットワークのデザイン分野に加盟している国内3都市の1都市として、これからの旭川市の未来を形づくる礎となり得る取組です。

概要は別紙のとおりとなりますので、ぜひ取材いただきますようご依頼申し上げます。

敬具

1 ミケーレ・デ・ルッキ展 ～ミラノと旭川のデザインの架け橋～

(1) テープカットセレモニー

日時 2025年6月25日（水）16時30分

場所 旭川市民ギャラリー（旭川市宮下通11丁目）

登壇者（予定） ミケーレ・デ・ルッキ 様

株式会社ユニオン 代表取締役 立野 純三 様

（代理 東京支店営業第2課課長 松村 拓也 様）

株式会社ツナシマ商事 代表取締役 綱島 岳人 様

株式会社ニューエスト 代表取締役 新西 貴代美 様

株式会社カンディハウス 代表取締役社長 染谷 哲義 様

昭和木材株式会社 代表取締役社長 高橋 範行 様

あさひかわ創造都市推進協議会 会長 渡辺 直行
旭川市副市長 菅野 直行

(2) 展示

前半 時期 2025 年 6 月 26 日（木）から 7 月 6 日（日）

場所 旭川市民ギャラリー

後半 時期 2025 年 7 月 8 日（火）から 8 月 31 日（日）

場所 旭川駅構内

展示内容 画像パネル・インスタレーション

(3) 主催 旭川市・あさひかわ創造都市推進協議会

(4) 企画・プロデュース NOBU ARCHIDESIGN（株）代表取締役 成ヶ澤伸幸

(5) 監修 AMDL CIRCLE

(6) 寄附・協力 (株)ユニオン、(株)ツナシマ商事、(株)ニューエスト、(株)カンディハウス、昭和木材(株)

(7) 後援 駐日イタリア大使館、イタリア文化会館

(8) 注意事項

ア 入場は無料ですが、駐車場は近隣の有料駐車場をご利用ください。

イ 6 月 26 日（木）10 時 30 分から囲み取材をお受けいたします。取材を希望される方は、6 月 20 日（金）までに担当宛に電子メールにて社名及び質問内容の概要をお送りください。

2 ミケーレ・デ・ルッキ氏と坂東統括園長のトークセッション

(1) 日時 2025 年 6 月 26 日（木）14：30～16：00

(2) 場所 旭川市大雪クリスタルホール 大会議室（旭川市神楽 3 条 7 丁目）

(3) テーマ 「デザインといきものの未来」

(4) 登壇者 旭川市特別デザイン大使ミケーレ・デ・ルッキ氏、坂東元 旭山動物園統括園長

(5) ファシリテーター 今津寛介 旭川市長

(6) 通訳 山田美知代氏

(7) 主催 旭川市、あさひかわ創造都市推進協議会

(8) 協賛 NPO 法人旭山動物園くらぶ

(9) 監修 AMDL CIRCLE

(10) 後援 イタリア大使館、イタリア文化会館

(11) 総合企画 NOBU ARCHIDESIGN（株）代表取締役 成ヶ澤伸幸

3 ミケーレ・デ・ルッキ氏略歴及びフライヤーデータ 別紙のとおり

（担当）旭川市経済部産業振興課 担当／後藤、佐藤

電話：0166-65-7047 FAX：0166-65-7048

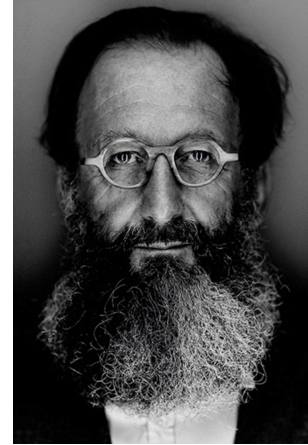
Email：sangyousinkou@city.asahikawa.lg.jp

ミケーレ・デ・ルッキ Michele De Lucchi

建築家、デザイナー、アーティスト。AMD L CIRCLE 主宰。

1951 年イタリア北部フェラーラ生まれ。イタリアのデザイン界を代表する巨匠建築家。

デザイン・スタジオ「アルキミア」に参加し、その後一大デザインムーブメントを巻き起こした「メンフィス」のメインメンバーとして活動。建築家として、住宅、オフィスから工業用建造物、文化施設に至るまで、世界各国の重要な建築プロジェクトに携わる。またこれまでに、エルメスを始めとするヨーロッパのラグジュアリー・ブランドや有名企業の依頼を受け、家具や照明など多くのプロダクトやインテリアのコレクションをデザイン設計し、革新的なデザインを発表し続けている。



代表的な作品として、ドイツ銀行ビル、ドイツ鉄道、ENEL（エネルギー会社）、イタリア郵便局、ヘラ（エネルギー会社）、インターザ・サンパオロ銀行、ユニクレディット銀行といったイタリア国内外の民間と政府機関のために、職業環境とコーポレート・アイデンティティを設計デザイン。その他、ミラノのトリエンナーレ美術館やローマのエスポジツィオーニ宮殿、ベルリンのノイエス・ミュージアム、ミラノのガレリア・ディタリアなど美術館や展示システムをデザイン。現在、日本（六甲山サイレンスリゾート）、中国（北京）、ジョージア（トビリシ）、イタリアといった世界各地のラグジュアリー・リゾートの建築、設計デザインに携わり、世界を舞台に大きなプロジェクトに取り組んでいる。2000 年にはこれまでの功績を認められ、当時のカルロ・アツェッリョ・チャンピ大統領から、イタリア共和国ウフィチエーレ勲章を授与された。2001 年ヴェネツィア IAUV 大学教授に任命され、2006 年にはキングストン大学の名誉学位を授与された。2008 年よりミラノ工科大学とローマの国立アカデミア・ディ・サン・ルカの教授に就任し、教鞭をとる。

2018 年にはイタリアの建築専門誌「ドムス」編集長を務めた。

ミケーレ・デ・ルッキは、革新的な建築家たちをサークルにつなぐ Amdl Circle のファウンダーであり、リサーチを重ねた後 2018 年には、新たな移住空間のコンセプト「アース・ステーションズ」を発表した。

2022 年、コンパッソ・ドーロ・キャリア賞受賞。2024 年、アカデミア・デッレ・アルティ・デル・ディゼーニョ（フィレンツェ）、アカデミア会員、フランス共和国文化通信省より、芸術文化勲章・オフィシエを受章。

2024 年 4 月には、ミケーレ事務所において、藤本壮介氏とコラボしたインスタレーション展示と「旭川ナイト」の開催やミラノ市長と旭川市長の対談のセッティング、A DW2024 及びデザイン都市旭川会議で、藤本壮介氏との公開トークセッション、旭川駅中にインスタレーションを設置している。

Milano – Asahikawa A Bridge Between Cultures

MILANO – ASAHIKAWA
A BRIDGE BETWEEN CULTURES

MICHELE DE LUCCHI
and AMDL CIRCLE

2025.6.26–7.6
CITIZEN GALLERY

2025.7.8–8.31
STATION GALLERY

旭川市特別デザイン大使
建築家ミケーレ・デ・ルツキ

Michele De Lucchi and AMDL CIRCLE

ミラノと旭川のデザインの架け橋
ミケーレ・デ・ルツキ

2025.6.26–7.6
Citizen Gallery, Asahikawa

2025.7.8–8.31
Station Asahikawa

主催 ASAHIKAWA CITY 旭川市・あさひかわ創造都推進協議会 企画・プロデュース NOBU ARCHI DESIGN 株式会社 成ヶ澤伸幸 監修 AMDL CIRCLE

Architect Michele De Lucchi 氏 旭川市特別デザイン大使 就任記念の展覧会を開催

開催日 旭川市民ギャラリー 2025年6月26 日（木）～7月6 日（日）旭川駅 2025年7月8 日（火）～8月31 日（日）

寄付・協力 株式会社ユニオン 株式会社ツナシマ商事 株式会社ニューエスト 株式会社カンディハウス 昭和木材株式会社

後援



Ambasciata d'Italia
Tokyo

駐日イタリア大使館



イタリア文化会館

デザインと いきものの未来

「デザインといきものの未来」をテーマに、旭川市の特別デザイン大使のミケーレ・デ・ルッキ氏と旭川市旭山動物園統括園長の坂東元氏が旭山動物園の空間デザインや持続可能な環境づくりを軸とし、「建築がいのちとどのように共存できるか」という視点からトークをします。いのちとデザインが果たすべき役割について多角的に意見を交わし、次世代に向けた持続可能な社会のあり方を探ります。



Michele De Lucchi

ミケーレ・
デ・ルッキ

1951年イタリア・フェラーラ生まれ。1976年フィレンツェ大学建築学科卒業。1981年、エトレ・ソットサスとともにミラノでイタリアの新しいデザインムーブメント「メンフィス」を立ち上げ、1980年代を代表するデザインムーブメントのひとつとなる。1987年にコンパッソ・ドーロ賞を受賞した、世界で最も売れている照明器具、アルテミデの「トロメオ」の生みの親でもある。建築家、デザイナー、アーティストでもある彼は、建築、デザイン、グラフィックへのヒューマニスティックなアプローチで有名な学際的デザインスタジオ、AMD L Circleの創設者であり、その一員でもある。文化、オフィス、工業、住宅など世界各地の主要な建築プロジェクトに携わるほか、ヨーロッパの高級ブティックやエルメスなどの有名企業から依頼を受け、家具や照明など多くのプロダクトやインテリア・コレクションをデザインし、革新的なデザインを生み出し続けている。

旭川市旭山動物園統括園長、ボルネオ保全トラストジャパン理事。1961年旭川市生まれ。1986年3月、酪農学園大学酪農学部獣医学修士課程卒。1986年5月、旭川市職員として採用、旭山動物園に勤務。1995年4月、旭山動物園飼育係長。2004年4月、旭山動物園副園長。2009年4月、旭山動物園園長※9代目園長。2024年4月、旭山動物園統括園長。1997年の「こども牧場」から「べんぎん館」「あざらし館」「ちんぱんじー館」「レッサーパンダ舎」「エゾシカの森」「きりん舎・かば館」「えぞひぐま館」など施設のデザインを担当、数々のアイデアを出し具体化してきた。また手書きの情報発信やよくもぐタイムなどのソフト面でも係の中心となり具体化、システム化を図ってきた。ボルネオでの活動も本格化しており、マレーシア国サバ州での野生生物レスキューセンターの建設に携わっている。著書：『旭山動物園へようこそ! (二見書房)』『動物と向きあって生きる (角川学芸出版)』『夢の動物園 旭山動物園の明日 (角川学芸出版)』『ヒトと生き物 ひとつながりのいのち 旭山動物園からのメッセージ (道友社)』。



旭川市旭山動物園統括園長、ボルネオ保全トラストジャパン理事。1961年旭川市生まれ。1986年3月、酪農学園大学酪農学部獣医学修士課程卒。1986年5月、旭川市職員として採用、旭山動物園に勤務。1995年4月、旭山動物園飼育係長。2004年4月、旭山動物園副園長。2009年4月、旭山動物園園長※9代目園長。2024年4月、旭山動物園統括園長。1997年の「こども牧場」から「べんぎん館」「あざらし館」「ちんぱんじー館」「レッサーパンダ舎」「エゾシカの森」「きりん舎・かば館」「えぞひぐま館」など施設のデザインを担当、数々のアイデアを出し具体化してきた。また手書きの情報発信やよくもぐタイムなどのソフト面でも係の中心となり具体化、システム化を図ってきた。ボルネオでの活動も本格化しており、マレーシア国サバ州での野生生物レスキューセンターの建設に携わっている。著書：『旭山動物園へようこそ! (二見書房)』『動物と向きあって生きる (角川学芸出版)』『夢の動物園 旭山動物園の明日 (角川学芸出版)』『ヒトと生き物 ひとつながりのいのち 旭山動物園からのメッセージ (道友社)』。

参加無料
定員:100名



2025.6.26(木)
14:30～16:00

登壇者：旭川市特別デザイン大使 ミケーレ・デ・ルッキ氏
旭川市旭山動物園統括園長 坂東元
ファシリテーター：旭川市長 今津寛介

会場：大雪クリスタルホール
[大会議室]
旭川市神楽3条7丁目

お問い合わせ：あさひかわ創造都市推進協議会
TEL:0166-65-7047 FAX:0166-65-7048
<https://design-asahikawa.jp/>

共催：旭川市、あさひかわ創造都市推進協議会
協賛：NPO法人旭山動物園くらぶ 監修：AMD L CIRCLE

後援：駐日イタリア大使館



Ambasciata d'Italia
Tokyo

イタリア文化会館



総合企画：成ヶ澤伸幸氏

あさひかわ創造都市推進協議会 アドバイザー／NOBU ARCHI DESIGN株式会社 代表取締役／AMD L CIRCLE JAPAN PROJECT PARTNER

通訳：山田美知世氏



Bando Gen
坂東元



お申し込みは
こちらから



Michele De Lucchi × Bando Gen

ミケーレ・デ・ルッキ氏と坂東元氏のトークセッション